

ちよつと小耳に

ガーナのために  
 がんばります



あべ しんぺい さん  
 青年海外協力隊

青年海外協力隊は、開発途上国の経済開発や福祉の向上を支援することを目的として、国際協力機構(JICA)が実施している事業です。派遣された隊員は、自分の技術を活かしながらその国の国づくりに力を尽くしています。

このほどこの青年海外協力隊として、油谷出身の安倍伸さんが、西アフリカの赤道近くの国、ガーナへ派遣されることになりました。

大学では農学部で微生物学や遺伝子工学を専攻していたという安倍さん。テレビでこの青年海外協力隊の活動を見たことが、応募のきっかけだった。

つたとか。現地では、ノーザン州タマシにあるカルボリン高校の理科教師として物理の授業を行う予定という中で、「一番難しいのは語学。自分の気持ちを上手く伝えることができるかどうか不安です」と。

また、趣味はサッカーという安倍さん。「サッカーの盛んな国、ガーナで、生徒と一緒にサッカーをするのがとても楽しみです」とも話しておられました。

「自分の教え子がガーナの発展に貢献できれば」。派遣期間は2年間。安倍さんの活躍が期待されます。

ちよつと小耳に

元気をたくさん  
 もらっています



はぎのや えいじ さん  
 文化維新♡ときめき隊

第21回国民文化祭・やまぐち2006に、「文化維新♡ときめき隊」として参加する萩野谷英治さん。今回の参加は、自身の入院経験がきっかけだったとか。2年前に体調を崩し、防府市の県立病院に入院。10時間にもおよぶ長い手術の末、無事回復。「助けていただいたお礼に何か役に立てれば」。そんな思いから参加を決意されたそうです。

萩野谷さんが出演するのは、11月3日にきらり元氣ドームで開催される「オープニングフェスティバル」。山口の壮大な歴史ロマンをミュージカルで表現する舞台です。



昨年8月から始まった全体レッスンに加えて、現在は市内の参加者で自主レッスンもやっているとのこと。本番へ向けて仕上げも順調です。

今年で還暦を迎えられた萩野谷さん。「輝かしい人生の1ページとなる行事に参加できることが一番の幸せです」と、その思いを語ってくださいました。

連絡帳 日置小学校

大切な役割



ながまつ ちさと さん  
 永松千知 さん  
 日置小学校 6年

「あきらめず、汗と勇気とファイトでGO!」のスローガンのもと日置小学校の運動会が始まりました。私は、応援団長です。応援係ならやりたかったのですが、応援団長なんて思いもせませんでした。「毎年男子だから女子がやれよなんて言われたりもするけど絶対にいやでした。けれど話し合いをしてもあまりにも決まらないので、思いきって手をあげて立候補しました。「あ、あ、何で手をあげてしまったんだろう」と思いましたが、後の祭りです。

練習の時には、何をすればいいのかからず、みんなに迷惑をかけたこともありましたが、私なにかが団長でいいのかなという不安

「おそれたこともありましたが、そして、とうとう本番です。がんばって考えたダンスにパフォーマンス。最初はバラバラだった応援団が一つになって運動会を盛り上げました。私たちは、児童会賞を取ることでできました。

つらいことや苦しいこともあったけど、こんなに大切な役割を思いきってやってみると、良かったと思えました。



応援合戦の様子

連絡帳 向津具中学校

最高の運動会



ふじもと たかし さん  
 藤本尚史 さん  
 向津具中学校 3年

9月10日に向津具大運動会が行われました。今年のスローガンは「燃えろ向津具魂〜みんなで作る最強の絆〜」でした。今年は昨年よりも準備期間が短かったのですが、みんな昨年を越えるもののように応援合戦や競技の練習に熱心に取り組みました。

毎年、運動会当日の天候が心配されるのがこの向津具大運動会です。もちろん今年も天候が心配されましたが、向津具パワーでなんとか開催に至りました。運動会で一番の盛り上がりは応援合戦でした。一人はみんなのために、みんなは一人のためにという精神で団員の間が協力し合い、最高の演技を披露することができました。

向津具大運動会には、この地域の保育園から中学校までの全ての子どもたちが集まり、毎年地域の方々が熱い応援を送ってくれます。この地域一体となった運動会はまだ8回目と歴史は浅いのですが、今ではしっかりと地域に根付いています。この素晴らしい伝統をこれからもずっと受け継ぎ、長門市さらには山口県でも有名な運動会になっしてほしいと思います。



応援合戦の様子